

海外の事例

1 サッカー・ワールドカップにおけるオフセットの取組：2010 南ア大会

ノルウェーと南アフリカ両政府の共同実施調査によると、2010 年 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会の温室効果ガス総排出量はおよそ 275 万トンであり、これは前回開催のドイツ大会の約 8 倍であった。このことに関しては(1)各国チームの移動距離が長い、(2)国内電力需給面において石炭火力のウェイトが大きい、というものが大きな理由として挙げられた。

イベント 情報	主催者		開催時期	出典
	主催者；国際サッカー連盟（FIFA）		2010/06/11～ 2010/07/11	1
算定範囲	対象項目	算定量	算定実施者	出典
	国際間移動	1,856,589 トン（67.4%）	南ア政府・ノルウェー政府 共同調査	2
	国内移動	484,961 トン（17.6%）		
	市内移動	39,577 トン（1.4%）		
	競技場建設関連	15,359 トン（0.6%）		
	競技場周辺エネルギー	16,637 トン（0.5%）		
	宿泊施設のエネルギー	340,128 トン（12.4%）		
	上記合計	2,753,270 トン（100%）		
プレイヤー・チームスタッフの海外フライト、開催国内移動、宿泊	約 6,050 トン （1 チームあたり）	UNEP 及び南ア環境省	3	
バウンダ リ情報	対象項目	オフセット （方法・割合）	費用負担者	出典
	プレイヤー・チームスタッフの海外フライト、開催国内移動、宿泊	オフセット割合；出場 32 チーム中、18 チーム実施	出場国のスポンサー	3
	観客の移動（フライト）	方法；ウェブ上カリキュレーターにより排出量算定、自主的にオフセット	観客自身	3
削減努力	実施施策			出典
	UNEP グリーンパスポートプログラムの推奨（環境配慮を促す交通手段提示）			3
クレジット 調達	オフセット量	クレジット種類	プロジェクト情報	出典
	約 6,050 トン×18 チーム	Gold Standard VER	スイス south pole 社のプログラム（各出場国個別対応）	3
情報提供	媒体	情報提供内容		出典
	ウェブ（組織委員会）	カーボン・オフセットとは、オフセットの実施、観客へのオフセット呼びかけ、再生エネルギー活用競技場の紹介、算定量、オフセットプログラム		4
	ウェブ（グリーンパスポート）	観客へのオフセットの呼びかけ、環境配慮を促す交通手段の選択肢提示		5
	ウェブ（UNEP）	オフセットの実施、観客へのオフセット呼びかけ、再生エネルギー活用競技場の紹介		3

出典

1. 2010 FIFA Soccer World Cup South Africa ウェブサイト
<http://www.fifa.com/worldcup/>
2. FEASIBILITY STUDY FOR A CARBON NEUTRAL 2010 FIFA WORLD CUP IN SOUTH AFRICA
ノルウェー政府（在南アノルウェー大使館）
<http://www.norway.org.za/NR/rdonlyres/3E6BB1B1FD2743E58F5B0BEFBAE7D958/114457/FeasibilityStudyforaCarbonNeutral2010FIFAWorldCup.pdf>
3. UNEP ウェブサイト：UNEP and the 2010 World Cup
http://www.unep.org/Sport_env/Worldcup2010_GreenGoal.asp#goal3
4. 2010 FIFA World Cup South Africa 公式ウェブサイト <http://www.sa2010.gov.za/>
5. South Africa Green Passport ウェブサイト
<http://www.greenpassport.co.za/carbon-offsetting.php>

2 オリンピックにおけるオフセットの取組み; 2010バンクーバー冬季五輪

バンクーバーオリンピック大会組織委員会は公式カーボン・オフセットサプライヤーとしてカナダのオフセッターズ社と提携し、開催に伴うカーボン・オフセットのマネジメントプログラムを実施した。当該大会の環境パフォーマンスについては、UNEP が評価し、2010年後半に環境影響評価報告書を公表する予定となっている。

イベント情報	主催者			開催時期	出典	
	主催者 ; 国際オリンピック委員会 (IOC) 開催主体 ; バンクーバーオリンピック組織委員会 (VANOC)			2010/02/12~ 2010/02/28	1	
算定範囲	対象項目	算定量 (トン) ※			算定実施者	出典
		direct	indirect	total		
	国際間移動	18,600	133,900	152,500	バンクーバーオリンピック組織委員会 (VANOC)	1
	国内移動	38,400	-	38,400		
	物流	22,400	-	22,400		
	建造	17,000	-	17,000		
	管理・運営	4,800	13,400	18,200		
	競技場エネルギー消費	12,000	-	12,000		
	トーチリレー	2,100	900	3,000		
	廃棄物	1,500	-	1,500		
	宿泊	300	1,100	1,400		
	Cultural Olympiad (文化交流イベント)	700	-	700		
上記合計	117,800	149,300	267,100			
バウンダリ情報	対象項目	オフセット (方法・割合)		費用負担者		
	上記 direct 排出量	100% (を予定)		オフセットスポンサー	2	
	上記 indirect 排出量	観客 ; カリキュレーターにより算定→クレジット購入推奨 その他 ; オフセットスポンサーに働きかけ 100%を目指す		観客、オフセットスポンサー	2	
削減努力	実施施策				出典	
	観客およびスポンサーに当該大会の carbon management program の理解を訴求				1	
	観客に対しカリキュレーターにて算定した排出量のオフセットクレジット購入を推奨					
観客に対し公共交通機関の利用、3R、過剰にガイドブックを持ち去らない、リユースカップの利用を訴求						
クレジット調達	オフセット量	クレジット種類		プロジェクト情報	出典	
	direct 排出量 ; 11 万トン (実施予定) indirect 排出量 ; 19 万トン (実施を目指す)	国内 ; B.C. Emission Offset Regulation, 国外 ; Gold Standard CER 又は Voluntary Carbon Standard (VCS) projects		The 2010 Legacy Portfolio	2	
情報提供	媒体	情報提供内容			出典	
	ウェブサイト	カーボン・オフセットとは、オフセットの実施、観客へのオフセット呼びかけ、オフセットによる BC 州の雇用創出、算定量、オフセット実施量			1、2	

※【direct】大会組織委員会がかかわる直接的な排出；競技場の建設、競技運営、競技者の移動、廃棄物管理。

【indirect】大部分は開催期間中の観客、スポンサー、またパートナーの海外からの移動及び宿泊である。この部分に関しては組織委員会管理範疇外としている。

出典

1. 2010 バンクーバーオリンピック公式ウェブサイト
<http://www.vancouver2010.com/?olympics>
2. 2010 バンクーバーオリンピック公式カーボン・オフセットサプライヤー；オフセッターズ社ウェブサイト <http://www.offsetters.ca/>

3 国際会議におけるオフセットの取組

3-1 2005年G8 グレンイーグルズサミット

グレンイーグルズサミットでは、南アフリカケープタウンの小規模 CDM プロジェクト (Gold Standard 認証) を通じ、カーボン・オフセットを実施した。オフセット量は 10,000 トン (下表参照)、1 トン当たり€15 でイギリス政府が購入した (下表出典 2 参照)。

イベント 情報	主催者 (開催ホスト国)		開催時期	出典
		イギリス		2005/07/05~ 2005/07/08
算定範囲	対象項目	算定量	算定実施者	出典
	大臣及び政府高官 の国際間移動	-	イギリス政府	1
	国内移動 (航空機以外)	-		
	会議場エネルギー 消費	-		
	宿泊	-		
	廃棄物	-		
バウンダ リ情報	対象項目	オフセット割合	費用負担者	出典
	算定範囲と同様	-	イギリス政府	1、2
削減努力	実施施策			出典
	省エネの促進			1
	廃棄物の低減化			
クレジット 調達	オフセット量	クレジット種類	プロジェクト情報	出典
	10,000 トン	Gold Standard CER	南ア・Kuyasa 低エネルギー 住居プロジェクト	2
情報提供	媒体	情報提供の状況		出典
	ウェブ	※DEFRA ウェブサイトにて情報発信 (現在はサイト削除)		1

出典

- 平成 20 年度 カーボン・オフセットのあり方に関する検討会 (第 5 回) 議事次第・資料
http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/conf/05/ref02.pdf
- House of Commons Environmental Audit Committee (2007) The Voluntary Carbon Offset Market, Sixth Report of Session 2006-07 (パラグラフ 206)
<http://www.publications.parliament.uk/pa/cm200607/cmselect/cmenvaud/331/331.pdf>

3-2 国連グローバルコンパクト・リーダーズサミット

国連グローバルコンパクトは次の二つの目的をもった自発的な企業市民のイニシアチブである。(1)世界中のビジネス活動に UNGC の 10 原則を組み入れる (2)国連の目標を支持する行動に対して触媒の役目をする、という目的を有している。

各国の企業のリーダーが参加するリーダーズサミット 2010 が 6 月 23 日～25 日までニューヨーク・マリオットホテルで開催された。

イベント	主催者		開催時期	出典
情報	UN Global Compact		2010/06/23～2010/06/25	1
算定範囲	対象項目	算定量	算定実施者	出典
	リーダーズサミット参加者国際間移動 会場エネルギー消費	2,000 トン	監修；国連 算定実務；PwC	1
バウンダリ情報	対象項目	オフセット (量・割合)	費用負担者	出典
	算定範囲におなじ	2,000 トン (100%)	主催者 (スポンサーあり)	1
削減努力	実施施策			出典
	英国規格協会による、持続可能性を持たせたイベントに対する規格；BS8901 サステナブル・イベント・マネジメントシステムに準拠したサミット運営 ローカルで収穫した食材の提供 (輸送に伴う排出の低減)			1
クレジット調達	オフセット量	クレジット種類	プロジェクト情報	出典
	2,000 トン	Gold Standard CER	地熱発電 (Amatitlan / グアテマラ)	1
情報提供	媒体	情報提供内容		出典
	ウェブサイト	オフセットの対象、算定量、クレジットの説明、プロジェクト情報		1

出典

1. 国連グローバルコンパクト公式ウェブサイト

<http://www.unglobalcompact.org/>

4 その他の事例；モントリオール国際ジャズフェスティバル

今年実施のモントリオール国際ジャズフェスティバルにおいてカーボン・オフセットが試験的に実施された。

イベント情報	主催者	開催時期		出典
	モントリオール国際ジャズフェスティバル	2010/06/25～2010/07/06		
算定範囲	対象項目	算定量	算定実施者	出典
	アーティストの移動（開催期間中）	2,000 トン	主催者	1
	アーティストの宿泊（開催期間中）			
	関係者の移動（開催および準備期の出張期間中）			
	開催期間中の輸送			
	開催期間中の発電機			
バウンダリ情報	対象項目	オフセット（量・割合）	オフセット負担者	出典
	算定範囲と同じ	2,000 トン（100%）	リオ ティント アルカン社（スポンサー）	1
削減努力の実施	実施施策			出典
	2万人の参加者に対して公共交通機関利用の呼び掛け			1
クレジット調達	オフセット量	クレジット種類	プロジェクト情報	出典
	2,000 トン	Gold Standard VER	風量発電（アンティサラナ／マダガスカル） 小水力発電（サリドケシル／インドネシア）	1
情報提供	媒体	情報提供内容		出典
	ウェブサイト	カーボン・オフセットに関する説明、オフセットの対象、算定量、クレジットの説明、プロジェクト情報、販売事業者情報		1

出典

1. モントリオールジャズフェスティバル公式ウェブサイト

<http://www.montrealjazzfest.com/questions-en/planetair-faq.aspx>

5 関連する海外の制度枠組み（政府及び国連の例）

5-1 政府枠組事例（英国政府）

5-1-1 エネルギー・気候変動省（DECC : Department of Energy and Climate Change）¹

2008年10月3日の内閣改造によりエネルギー・気候変動省（DECC）が新設された。これまで環境・食糧・農村地域省（DEFRA）が担当していた気候変動分野と、ビジネス・企業・規制改革省（BERR）が担当していたエネルギー分野を統合した。

DECC ウェブサイトに同省の取組が示されており、その中の A Low-Carbon UK においてオフセットに関連する情報及び取組が整理されている²。

5-1-2 UK Government's Quality Assurance Scheme (QAS) for Carbon Offset

DECC により 2009 年 2 月に導入されたカーボン・オフセットにおける品質保証制度。乱立するプロバイダや紛らわしい取引条件により、ユーザー自身によるクレジットを用いた信頼性の高いオフセットがなされているかの判断が困難であった。オフセットに対する信頼の確立、またオフセットの啓発推進のため、基準を満たすものについては DECC が品質保証マークを付与している。承認に関する事務遂行に関しては AEA Group が運営している。

5-1-3 政府・公共部門におけるオフセットの取組

DECC は、政府職員や公共機関の職員が、航空機を利用する際に排出される CO₂ をオフセットするため 2010 年 1 月より政府調達機関である Buying solution の協力の下「Government's Carbon Offsetting Facility (GCOF II)」をスタートさせた。

GCOF II では 2009 年 4 月から、2012 年 3 月までに排出された CO₂ が対象となる。GCOF II では、政府職員やの公共機関の職員がカーボン・オフセットを実施するために、ゴールド・スタンダード、あるいは同等のレベルの認証を受けた排出削減クレジット（クリーン開発メカニズムに基づくクレジット）を購入することを A guide to carbon offsetting for the public sector³で奨励している。また GCOF II は QAS が適用されている。

¹ DECC ウェブサイト <http://www.decc.gov.uk/>

² DECC A Low-Carbon UK
http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/what_we_do/lc_uk/lc_uk.aspx

³ DECC 「A guide to carbon offsetting for the public sector」
http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/what_we_do/lc_uk/co2_offsetting/gov_offsetting/using_gcof/using_gcof.aspx

5-2 国連環境計画 (UNEP) におけるオフセット関連ガイドライン

5-2-1 Kick the Habit / UN Guide to Climate Neutrality⁴

気候ニュートラルのための国連ガイド。同ガイドラインにより、個人・団体（企業）・自治体・国、それぞれの属性においての慣習を見直すことによる削減努力のマッピングや、現状整理として温室効果ガス排出の責任主体マッピングが例示されている。またオフセットの手法やクレジット流通市場の概略説明がなされている。

5-2-2 UNEP Guidelines for Calculating Greenhouse Gas Emissions for Businesses and Non-Commercial Organizations

算定におけるより詳細な情報としては UNEP の算定ガイドライン⁵にて説明されている。企業や非営利組織といった団体が排出する GHG の排出ソース分類、バウンダリについての考え方、データ入手、データ整理（ワークシート例示）、算定についてまとめられたガイドラインとなる。

上記ガイドラインは企業および非営利組織におけるルーティンワークでの排出に関し整理されており、イベントといったテンポラリーワークに特定した表記はなされていない。

⁴ UNEP 「Kick the Habit」 <http://www.unep.org/publications/ebooks/kick-the-habit/>

⁵ UNEP 「UNEP Guidelines for Calculating Greenhouse Gas Emissions for Businesses and Non-Commercial Organizations」
http://www.unep.fr/energy/information/tools/ghg/pdf/GHG_Indicator.pdf